本読む環境つくりたい

大学生半数 読書時間ゼロ

時間、お金余裕なし

習慣のなさも影響か

「1日の読書時間がゼロ」と回答した大学生が半数を超えた。アルバイトや就職活動での多忙さ、経済的に余裕がないことが考えられるほか、子どものころの読書習慣のなさも影響していることには大変驚いた。

私は学校で設けられている毎朝10分の読書タイムや休日を利用して本を読んでいる。大学生は、高校生までとは違って忙しい中、自分で時間をつくらなければならず、読書時間を確保するのは難しいのだろう。しかし、高校までに読書習慣がついていれば、隙間時間を利用して読むことは苦にならないだろうし、気分転換にもなると思う。

私は将来、司書になり、本に興味がない人でも「読みたくなる」環境をつくりたいと考えている。読書をすることで、読解力や思考力が育てられたり、新たな発見ができたりすると思うので、そのチャンスが幼いころから与えられるような社会を、私たちは目指していかなければならないと思った。

福住（ふくずみ） 麻友（まゆ）さん（福井南高3年）

福井新聞

© 福井新聞社 無断複製・転載を禁じます